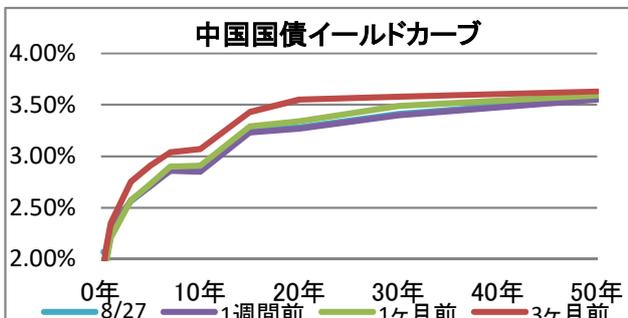
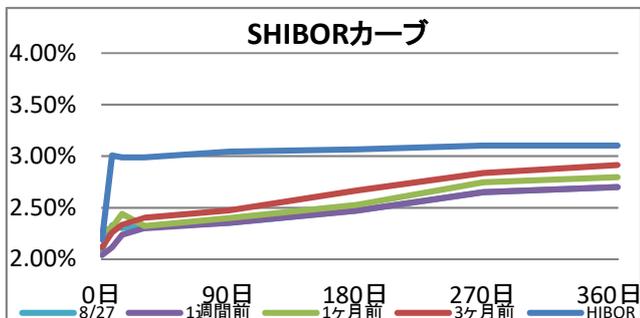


①市場概況

基準レート		2021/8/27	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4863	-0.0121
	JPY/CNY	5.8945	-0.0250
SHIBOR	3M	2.3540%	+0.0010%
国債利回り	10年	2.87%	+0.02%
上海総合指数		3,522.16	+94.83



(1) 概況

新型コロナウイルス感染再拡大やアフガン情勢悪化による世界の政治経済に対する懸念が高まる中でジャクソンホールでの経済シンポジウムを控えて警戒感が高まっていたものの、シンポジウムでのパウエルFRB議長の講演内容がインフレ率上昇は一時的な要因によるものながら経済回復が見込み通りならば年内にテーパリングを開始することが適切だが、これは直接的に利上げ時期を示唆するものではない、との主旨だったことから安堵感が広がっている。

中国金融市場においては、香港取引所の中国本土株指数先物の10月上場や中国人民銀行の資金供給拡大を好感して株式市場は上昇に転じたものの、中央財政委員会で「共同富裕」実現に向けた政策や銀行理財商品規制強化等への懸念の高まりから上値は重く、地方債増発もあって債券利回りも上昇に転じている。

国务院の証券業務に関連する会計事務所の監督強化や中国銀行保険監督管理委員会の銀行理財商品規制強化推進姿勢を受け、IPO審査や永久債市場に影響が出ている。また、先週17日の中央財經委員会において示された「共同富裕」に関しては、金融当局からは現状の政策を確認する格好でより緻密な金融政策とリスク管理強化の実施が表明され、中央財經委員会関係者からは富裕層の過度の懸念払拭を念頭とする発言が出されている。なお、上海市政府は「上海国際金融センター建設（第14次五ヶ年計画）計画」を発売し、世界的に影響のある国際金融センターとすることを表明している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対して新規リバースオペ1,700億元により差額1,200億元を供給している（本年2月以来の高水準）。新規の中央国庫商業銀行定期預金700億元を加えた実質的な資金供給額は1,900億元。

(3) 主な経済指標

工業部門企業利益（7月）は前年比+16.4%（6月+20.0%）と増加幅が縮小。国内外の新型コロナウイルス感染拡大や商品市況高騰が影響しており、原材料商品の供給価格の安定やサプライチェーンの高度化を政策的に支援するとしている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.0920%	2.1000%	2.2800%	
1W	2.3290%	1.8500%	2.1000%	2.1500%
2W	2.3060%	2.3200%	2.3500%	
1M	2.3150%	3.4000%	3.0300%	2.1500%
3M	2.3540%		2.4500%	2.3500%
6M	2.4710%			2.5700%
9M	2.6520%			2.6300%
12M	2.7000%	4.1000%		2.6900%

地方債発行増による需給悪化が懸念されたものの、中国人民銀行の週間資金供給額が2月以来の高水準となったこと等から、月末を前に安心感が広がった。ただし、ターム物の出合いは1ヶ月（2.3%前後）を除き限定的。

NCDは、資金需給に敏感な状況に変わりはなく、足下資金需給の改善により1年物を中心とする長めの期間の取引が活発化している。ターム物の金利水準は若干上昇し、1ヶ月が2.10%、3ヶ月物は2.30%、6ヶ月が2.50%、1年が2.68%を中心に取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.04%	0.05%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.08%	0.10%
3M	0.20%	0.23%
6M	0.28%	0.30%
12M	0.33%	0.35%

資金需給に大きな変化はなく、引き続きターム物は、1ヶ月0.10%、3ヶ月0.20%、6ヶ月0.30%が出合いの中心となっている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.07%	2.16%	2.38%	2.44%	2.78%
6M	2.08%	2.18%	2.52%	2.57%	2.91%
1Y	2.32%	2.41%	2.66%	2.68%	3.02%
3Y	2.56%	2.72%	2.96%	3.08%	3.82%
5Y	2.71%	2.95%	3.28%	3.38%	4.27%
10Y	2.87%	3.20%	3.59%	3.72%	4.61%

債券市場では、地方債発行増加や銀行理財商品規制強化に加えて米国金融政策を見極めたいとの市場心理が強まる中、中国人民銀行の資金供給が需給緩和と安心感を与える効果を発揮したものの、先行き警戒感が強い状況に変化はない。

イールドカーブは、月末が近づくにつれて利率債を中心に短期が弱含み（利回り上昇）となったことから若干フラットニングしたものの、クレジットスプレッドは利率債利回りの上昇により短期で若干縮小したことを除き概ね変化は見られなかった。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	46.5 / 48.5
1M	144.0 / 146.0
3M	438.0 / 439.0
6M	855.0 / 860.0
9M	1235.0 / 1240.0
12M	1615.0 / 1620.0

対ドル基準レートは、6.4863週末比-121pipsのドル安元高、対円基準レートは5.8945と同-250pipsの円安元高と、米国でのジャクソンホール会議（年次経済シンポジウム）を控えて6.48を挟んだ小動きとなった市況を反映した設定となっている。国内市場では長期的な米ドル高期待は強いものの、6.50近くでジャクソンホール会議を控えていることもあって上値は重く、6.47台前半まで下げた後に6.48近くまで戻して週末を迎えている。

先物は、「共同富裕」政策の金融市場への影響が不透明なことから国外投資家の動きが鈍く、米ドル金利、人民元金利ともに変動なく、直物市場の値動きも限定的であり、1年物が1,600台に上昇しているものの小幅な値動きが続いている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.29%		2.06%
6M	2.30%	2.51%	2.08%
9M	2.31%	2.55%	2.09%
1Y	2.32%	2.60%	2.09%
3Y	2.49%	2.88%	2.33%
5Y	2.69%	3.12%	
7Y	2.83%	3.28%	
10Y	2.97%	3.45%	

債券利回りの上昇によりスワップ金利も小幅ながら上昇に転じたものの、小幅な値動きに終始。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは概ね横ばい推移となっている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。